

(別紙1)

平成29年度～令和7年度 社会福祉法人朝倉恵愛会 社会福祉充実計画

1. 基本的事項

法人名	社会福祉法人朝倉恵愛会	法人番号	6290005007320					
法人代表者氏名	安岡 浩志							
法人の主たる所在地	福岡県朝倉市入地2262-1							
連絡先	0946-52-1144							
地域住民その他の関係者への意見聴取年月日	—							
公認会計士、税理士等の意見聴取年月日	令和4年6月1日							
評議員会の承認年月日								
会計年度別の社会福祉充実残額の推移 (単位：千円)	残額総額 (平成28年度末現在)	1か年度目 (平成29年度末現在)	2か年度目 (平成30年度末現在)	3か年度目 (令和元年度末現在)	4か年度目 (令和2年度末現在)	5か年度目 (令和3年度末現在)	合計	社会福祉 充実事業 未充当額
	572,670 千円			別紙①		951,530 千円		
うち社会福祉充実事業費(単位：千円)								
本計画の対象期間	平成29年4月1日～令和8年3月31日							

2. 事業計画

実施時期	事業名	事業種別	既存・新規の別	事業概要	施設整備の有無	事業費
1か年度目						
	小計					
2か年度目						
	小計					

3か年度目						
	小計					
4か年度目						
	小計					
5か年度目						
	小計					
6か年度目						
	小計					
7か年度目						
	小計					
8か年度目						
	小計					
9か年度目	いしずえ荘 特養建替工事	社会福祉 事業	既存	建築後38年(R4年5月現在)を経過した既存建物の建替え工事を行う	有	1,725,360 千円
	小計					1,725,360 千円
合計						1,725,360 千円

※ 欄が不足する場合は適宜追加すること。

3. 社会福祉充実残額の使途に関する検討結果

検討順	検討結果
① 社会福祉事業及び公益事業（小規模事業）	建築後38年(R4年5月現在)を経過した既存建物があり、今後修繕費等がかさむ事が考えられるうえ、現在は動線が長く職員に負担がかかっている為、建替え工事を行うこととした。
② 地域公益事業	①の取り組みの結果、残額は生じない為、実施しない。
③ ①及び②以外の公益事業	①の取り組みの結果、残額は生じない為、実施しない。

4. 資金計画

事業名	事業費内訳	1か年度目	2か年度目	3か年度目	4か年度目	5か年度目	合計
	計画の実施期間における事業費合計						
	財源構成	社会福祉充実 残額		別紙②			
		補助金					
		借入金					
		事業収益					
		その他					

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「資金計画」を作成すること。

5. 事業の詳細

事業名	いしずえ荘特養 建替え工事	
主な対象者	—	
想定される対象者数	—	
事業の実施地域	—	
事業の実施時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日	
事業内容	<p>建築後38年(R4年5月現在)を経過した既存建物があり、今後修繕費等がかさむ事が考えられる。また、当該施設は業務上の導線が長く、職員に負担がかかっている為、新築時には導線を短くし負担を軽減したい。</p> <p>については既存施設の同敷地内に、入居定員は同水準で床面積を減少させた施設を建設する。</p>	
事業の実施スケジュール	1か年度目	
	2か年度目	
	3か年度目	
	4か年度目	
	5か年度目	

事業の実施スケジュール	6か年度目	・建設工事内容の検討
	7か年度目	・建設工事内容の検討
	8か年度目	・施工業者の選定
	9か年度目	・建替え工事
事業費積算 (概算)	福祉医療機構のデータに基づく、令和2年度における福祉施設の建設費の状況について、特養における平米単価は、全国平均が312千円であった。 既存建物と入居定員同水準建物の建設予定：5,530平米 建替え費用：312千円×5,530平米＝1,725,360千円	
	合計	1,725,360千円（うち社会福祉充実残額充当額951,530千円）
地域協議会等の意見と その反映状況		

※ 本計画において複数の事業を行う場合は、2. 事業計画に記載する事業の種類ごとに「事業の詳細」を作成すること。

6. 社会福祉充実残額の全額を活用しない又は計画の実施期間が5か年度を超える理由

従来の計画では、東京オリンピックの影響による建築費の高騰が落ち着くことを想定して、実施期間を7か年度まで延長していた。しかし新型コロナやウクライナ問題が発生し、世界的な物資不足により建設費のさらなる高騰が続いている。ついては、さらに2か年度の期間延長を行い、その間に建設に係る社会情勢を見極めたい。

また、当初は本部建物を建て替える計画だったが、令和4年4月に本部と併設するサービス付き高齢者向け住宅を閉鎖したため、必要性が低くなった。このことから同様に老朽化が進んでいる、いしずえ荘特養建物を建て替えることにした。